
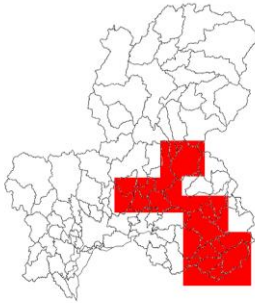


チャイトスゲ	<i>Carex sachalinensis</i> F.Schmidt var. <i>aureobrunnea</i> (Ohwi) Ohwi	準絶滅危惧
		カヤツリグサ科
選定理由	分布域の一部で生育条件が悪化しているため。	写真(岐阜県博物館)標本 
形態の特徴	匍匐枝があり、まばらに叢生する。基部の鞘は無葉身気味、褐色。苞葉は葉状で雌小穂よりも長く、有鞘。頂小穂は雄性、線形、雄鱗片は淡褐色～褐色、鋭頭。雌鱗片は淡褐色で中脈緑色、鋭頭または鈍頭、時に短芒端、果胞より短い。果胞は無毛、有脈、嘴はやや長く、明瞭な2齒。花期は6-7月。	
生態的特徴	丘陵や低山の林床や路傍に生育する多年草。	
分布状況	本州(東海～近畿地方)・四国・九州に分布し、岐阜県では県南東部と中部に分布する。	
減少要因	開発に伴う山林伐採。	
保全対策	山林の保全。	
特記事項		
参考文献	勝山輝男. 2005. 「ネイチャーガイド 日本のスゲ」. 文一総合出版, 東京. 星野卓二・正木智美・西本真理子. 2011. 「日本カヤツリグサ科植物図譜」. 平凡社, 東京.	

文責: 清水英彦